

準一家天童氏

天童氏は、仙台藩では一門、一家に次ぐ準一家という家格に列せられました。伊達家家臣の由緒をまとめた『伊達世臣家譜』によれば、準一家は10家を数えます。ほとんどが戦国時代に陸奥・出羽国の大名であった家の分家や、有力家臣の家柄で、基本的に政宗の時代に伊達氏に服属した外様の有力者に与えられました。



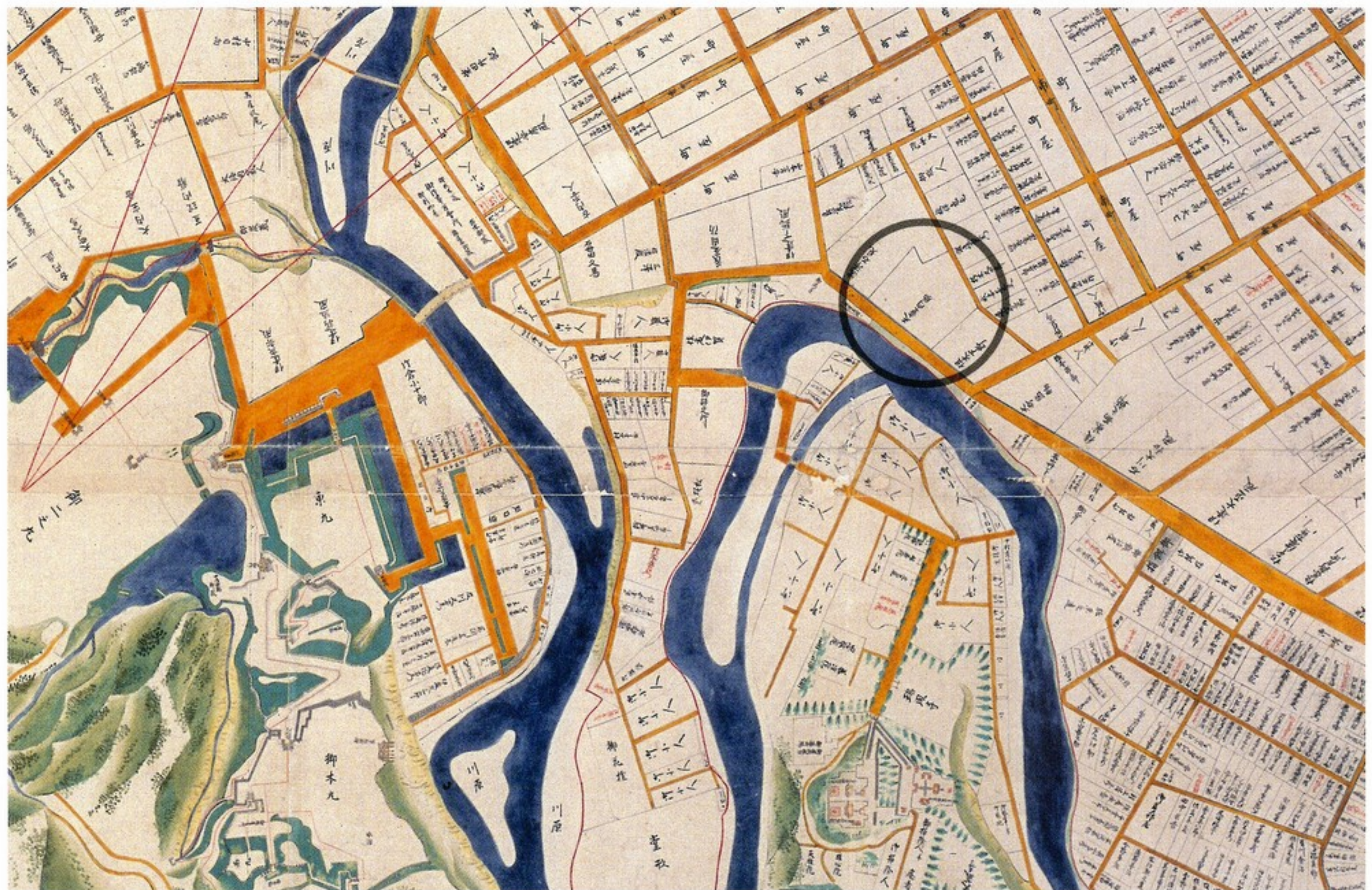
長持 (天童勲氏)

氏名	由緒	伊達家との主従関係
猪苗代氏	陸奥国会津領主蘆名氏の家臣	盛国の時政宗に仕え、5000石を与えられる。
天童氏	出羽国天童領主天童氏の嫡流	天正年中頼澄の時政宗に仕え、1000石を与えられる。
松前氏	蝦夷地松前領主松前氏の庶流	安廣の時政宗に仕え、1000石を与えられる。
蘆名氏	陸奥国会津領主蘆名氏の庶流	慶長7年盛信の時政宗に仕える。
本宮氏	陸奥国二本松領主畠山氏の庶流	頼重の時政宗に仕える。
高泉氏	奥州探題大崎氏の庶流	天正年中政宗に仕え、200石を与えられる。
葛西氏	陸奥国胆沢～牡鹿領主葛西氏の庶流	元和年中政宗に仕え、600石を与えられる。
上遠野氏	陸奥国岩城領主岩城氏の家臣	政宗に仕え、500石を与えられる。
保土原氏	常陸国領主佐竹氏の家臣	天正17年政宗に仕え、1000石を与えられる。
福原氏	旗本福原氏の庶流	寛永20年忠宗に仕え、500石を与えられる。



鎧櫃 (天童勲氏)

仙台藩準一家



寛政元年(1789)仙台城下絵図(仙台市博物館)
天童氏の屋敷は現在の仙台高等裁判所付近にあたります。